

# 前期基本計画 総括評価シート

## 1 基本情報

施策名	3 - 1 都市拠点にぎわうまちづくり				戦略名	拠点創造プロジェクト			
担当	主担当部	都市建設部	主担当課	都市計画課					
	部長名	高石 和明	関係課	市民活動支援課	産業振興課	道路課			

## 2 取組目標

- 市民生活の拠点である駅周辺など、それぞれの特性に合わせた整備を進め、まちのにぎわいをつくります。
- 産業の拠点としての工業団地の機能を充実させ、産業のにぎわいをつくります。

## 3 前期基本計画の成果

**取組1 市役所・白井駅周辺や西白井駅周辺などでの地域特性に合わせたにぎわいづくり**

- ・市民団体の主催による総合公園での「ときめきマルシェ」の開催の支援を行い、平成29年度の参加者5,500人、出店者78者から、平成30年度は7,500人、109者、平成31年度は8,000人、140者と毎年参加人数や出店者が増加しており、拠点の1つの賑わいの創出につながった。
- ・平成31年度は、旧学校給食共同調理場跡地及び市役所周辺地区まちづくり協議会設立地区において、サウンディング型市場調査を行った。この調査により、旧学校給食共同調理場跡地においては住居系と業務系のいずれも、市役所周辺においては業務系のポテンシャルが高いことが確認され、今後の都市的土地利用の方向性が明らかになった。
- ・平成30年度において、市街化調整区域のうち、賑わいと交流や地域振興に寄与する施設の誘導を図る「根公益的施設誘導地区地区計画」を決定し、「ゆとりある暮らしを支えるまちづくり」や「子育てしたくなるまちづくり」の施策と連携したことにより、平成31年度において複合型子育て施設と商業施設を一体的に整備でき、市民生活の向上につながった。

**取組2 工業団地への産業機能の集積に向けた環境整備**

- ・工業団地及びその周辺から国道16号へのアクセス道路について、平成28年度から継続して用地取得及び道路整備を進めることができた。（取得済面積13,174.29㎡ 総取得率87.6%、整備延長76.1m 整備率3.6%）
- ・白井工業団地地区を横断する道路（市道00-003号線、市道00-103号線）の沿道において、用途地域の変更及び地区計画の決定の都市計画決定を令和2年4月に行ったことにより、購買施設や飲食店等の誘導が可能となり、就業環境向上のための受け皿を整えた。

成果指標	施策指標名	単位	基準値	実績値		目標値	達成度	達成状況	
				H28年度	H31年度			R2年度	達成率
	駅周辺にぎわっていると思う市民の割合	%	-	16.1	4.0	33.0	×	◎ 目標達成	100%以上
	白井駅周辺の流動人口（月平均）	人	44,666	49,166	-	54,100	-	○ 目標に近づいている	75%以上
	西白井駅周辺の流動人口（月平均）	人	74,766	76,900	-	84,600	-	△ 基準値を現状維持	50%以上
	工業団地立地事業者数（協議会加盟社）	社	278	278	267	278	×	× 基準値より悪化	50%未満

住民意識調査結果

## 4 前期基本計画の総括(主担当部長による評価)

評価	B	A 目標を上回る成果があった	C 目標をやや下回る成果となった
		B 目標どおりの成果があった	D 十分な成果があがらなかった
評価理由	<p>成果指標については、長期的な視点が必要であるとはいえ、現時点では十分に成果が数値に表れていない状況である。</p> <p>一方、数値化できない成果として、各取組においては、中心都市拠点では、根公益的施設誘導地区で商業施設や複合型子育て施設を創出できたほか、市役所周辺地区では、サウンディング調査による用途地域変更等の規制誘導施策の検討や、総合公園での「ときめきマルシェ」の開催支援を行い、生活拠点においては、西白井駅地区の旧学校給食共同調理場跡地でのサウンディング調査による利活用の可能性の検討を行った。</p> <p>また、産業拠点である白井工業団地においては、用途地域の変更と地区計画の都市計画決定並びにアクセス道路の整備を進めているなど、取組目標である「拠点のにぎわいづくり」に向けて着実に進んでいることから、総合的にみて本評価とした。</p>		

## 5 後期基本計画への反映

中心都市拠点及び生活拠点において、商業施設などの企業進出の誘導を進めるとともに、イベントの開催を支援するなど、ハードとソフトの両面から拠点のにぎわいづくりを進める。

工業団地の環境整備については、アクセス道路整備の早期完成を目指すとともに、沿道等の利便性を高める。

## 6 総合計画審議会の意見

【令和2年8月28日付け白総審第3号「白井市第5次総合計画後期基本計画について（答申）」において、戦略3について付した意見】

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大を契機として、コミュニティのあり方が問われる中で、多様な形で人々がつながることができる手法を見出されたい。
- ・地域との連携のあり方について、分野ごとではなく庁内全体で本格的に整理するとともに、地域資源の共有から活用までを包含する媒介機能の向上を図られたい。